



DOCOMO TEAM DANDELION RACING

Team Release

決勝レポート

2025/3/9 Rd-2 鈴鹿サーキット

天候：曇り／晴れ 気温：15°C 出走台数：22台

観客数：8日(土)14,500人 9日(日)18,000人 合計32,500人

8日（土）開幕戦に続き1大会2レースで争われる鈴鹿サーキット第2戦は、タイヤ交換のウインドウが定められていないレースフォーマット。

そのためこれまでとは違ったレース戦略が求められ、チームとドライバーの思い交錯する中スタートを迎えた。

3番グリッド太田選手はやや加速が鈍ったか、5番グリッドスタートの牧野選手が1コーナーで太田選手を抜いて3番手、太田選手は4番手でオープニングラップを周回する。

オープニングラップを終えたところで、先行する野尻選手に反応したチームは、太田選手をピットに呼ぶ。

太田選手は、ピットアウト後の冷えたタイヤながらアグレッシブにプッシュし、スプーンカーブで野尻選手を抜く。しかしその後コースに復帰した岩佐選手に先行を許しピットイン消化組の2番手で走行。

牧野選手はステイアウトを選択し、ピットイン消化組とのタイム差を広げるべく、各セクターでベストタイムを連発しながら予選モードで走行する。

前を走る岩佐選手攻略のタイミングを狙っていた太田選手は、14周目のシケインで岩佐選手のインに飛び込むが、止まり切れずオーバーラン。このため太田選手には5秒のタイム加算ペナルティが課されることになった。

首位を走る牧野選手と、ピットイン消化組の首位太田選手のタイム差が37.5秒に開いた20周目に牧野選手はピットイン。タイヤ交換を済ませ太田選手の前でコースに戻るが、太田選手は冷えたタイヤの牧野選手をNIPPOコーナーでオーバーテイク。

しかしフレッシュタイヤの牧野選手は24周目のバックストレートで太田選手を抜く。この時点で2番手太田選手と3番手坪井選手の差は4.2秒。

5秒加算ペナルティ分の差を開けるべくハードプッシュする太田選手だったが、28周目にはS字コーナーでコースアウト車が発生するとセーフティカーが導入されることに。

レースはセーフティカーがゴールまで続き、牧野選手は鈴鹿初優勝。

太田選手は2位でフィニッシュするが、5秒のタイム加算ペナルティにより、12位までポジションダウンすることとなった。



DOCOMO TEAM DANDELION RACING

Team Release

5 : 牧野任祐選手 優勝

昨日が悔しいレースだっただけに、今日の優勝はとても嬉しいですし、自身初の鈴鹿での勝利という事も印象深いです。

スタートも決まって、新たなレースフォーマットにもうまく対応できたと思います。チーム無限とのピット戦略の展開についてはぎりぎりまで悩むところもありましたが、展開的には引っ張るしかない状況でした。

レースペースは良かったですが、まだまだ詰められる部分もありますね。

太田選手と 1-2 フィニッシュしたかったですが、次のもてぎ戦で昨年のようないいバトルがチームメイトとできると良いですね。

6 : 太田格之進選手 12 位

やれることはやったと思います。

レース自体は戦略もよかったですし、スピードもあったと思います。

タイヤの冷えた状態で野尻選手を捉えることが出来ましたし、岩佐選手ともアグレッシブなレースは出来ました。

最後はセーフティカーランのままゴールという事で、僕はタイムペナルティを負っていましたので、不運というか、残念な結果になってしまいました。

攻めた結果ですし、決勝の速さはあるので、次戦以降でしっかりと取り戻したいです。